



# はなもみじ

春秋どきに旬なり

平成 23 年 6 月 21 日  
千曲市立屋代小学校

13

## プール開き(6/20)

～「安全に・目あてをもって」学校長の話から～

今朝は、汗をかいて登校する人がたくさんいました。いよいよ水泳の季節ですね。楽しい水泳学習にするために、2つのお願いをします。

**1** つ目は、**プールでの学習の約束を守る**ということです。

例年、プールでおぼれてなくなってしまうという新聞記事を目にして、とても残念に思います。そんなことが絶対にならないように、先生方の言うことを聴いて、幾つかの大切な約束をしっかりと守ってください。

**2** つ目は、**目あてをもって学習する**ということです。

去年できなかったことができるように、具体的な目標を決めましょう。今年は m泳げるようになる、秒タイムを縮めるといった自分の目あてをしっかりともち、わずかな夏の時間の中で、自分の力を高めてください。

今日から、楽しく事故のないように、自分の力を伸ばしていきましょう！

### 自分の水着は自分で用意しよう！

低学年は、ぬれた水着を洗濯機まで、もっていきましょう。干してもらった水着は、自分で水泳バックに入れましょう。

高学年は、自分で洗濯をし、干しましょう。

**お家の方に任せることのないように！**



学年代表児童が  
目あてを発表！

### 総合的な学習の時間(5年生の取組)やぎを飼い、米作りを始めました。

総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとしています。

当たり前のように食べる米は、どのようにして作られているでしょうか。体験することで、本当の苦労がわかります。20日(月)は田植え、感謝の心が生まれれば、何よりです。

ヤギのゆきちゃんのために、コンクリートを打ち、小屋を作りました。大きな楽しみと多くの困難に向い、子どもたち自身が考え、ヤギと一緒に毎日を送ってほしいと願います。



**体験を通して自然や生き物、地域とのふれ合いを深めましょう。**

解決できない  
大きな  
悩みがある

教育相談をお受けするとき、「こうしてみればどうでしょうか」と、自分の知識や経験からお話をさせていただきます。うまくいくかは、確証がもてませんから、「しばらくして、またお話をしましょう」と相談を続けます。

一番大切なことは、保護者の方に安心感をもっていただくことだと思います。人は悩みを聞いてもらえると、それだけでも、心が軽くなります。また、一緒に子どもにかかわってくれる人が増えることで、勇気がわいてきます。

親の気持ちの  
安定がこの子  
を安心させる

こうして子どもに直接かかわる保護者の方の気持ちが和らぐと、自然と子どもも安心し、少しずつよい方向へと行動が変わっていくのです。



学校では、この子に関係する職員が集まって、どんな支援をしていくことが有効か検討する校内支援委員会を設置していますので、ご心配なことはお気軽にご相談ください。

ときには子ども  
もただ悲し  
みを共有する

しかし、ときには、よい方法を提案できないときもあります。例えば、高学年の不登校傾向や人間関係の悩みは、その原因が多岐にわたり、簡単には解決に至りません。

この子の気持ちを十分に聴き取り、その背景に何かあるかを分析し、納得できるように伝え、どうすればよいかをともに考える。これも一つの大事な方法です。こうした努力をしなければ、子どもは放っておかれた存在になってしまい、存在価値を感じなくなってしまうでしょう。まだ、余力と気力が残っていれば、再び強く立ち上がることができます。

それに対して、何も語らず、何も指示せず、子どもの悲しみを自分のこと以上に感じ、手を握り、涙をこぼすことも、もう一つの大事なことです。他の人との比較でなく、自分の価値を認め、この命の存在を心から大切に思ってくれている人がいることで、救われることもあるのです。

すぐにどうすることもできない苦しみに突き当たるとき、がんばっても、がんばってもうまくいかず精も根も尽き果てるときも、人生の中にはあるでしょう。そのときは、深く悲しみますが、その悲しみを一緒に感じてくれる人がいることで、救われることがあります。また、その人とともに、喜びも一層強く感じるができるはずです。

